

1. 開催趣旨

○地域の消費者問題に携わる団体・グループの「交流の場」、地域の多様な主体の連携・協働のきっかけの場として、平成22年度より開始し、**各都道府県での開催が一巡したところ**。消費者団体間の「交流の場」というきっかけづくりとしては**一定の成果が出ている**。

○一方で、現在消費者行政の重要課題として、消費者安全確保地域協議会の設置促進、若年者への消費者教育の推進、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、消費者団体関係者のみならず、**幅広い分野における関係者との更なる連携・協働が重要**となっている。

2. アウトプット(次の目指す姿)

“地域”の多様な主体の連携・協働のきっかけの場にとどまらず、**当面の重要課題の解決を見据えた、その場限りではない継続性のあるつながりの場とする**。

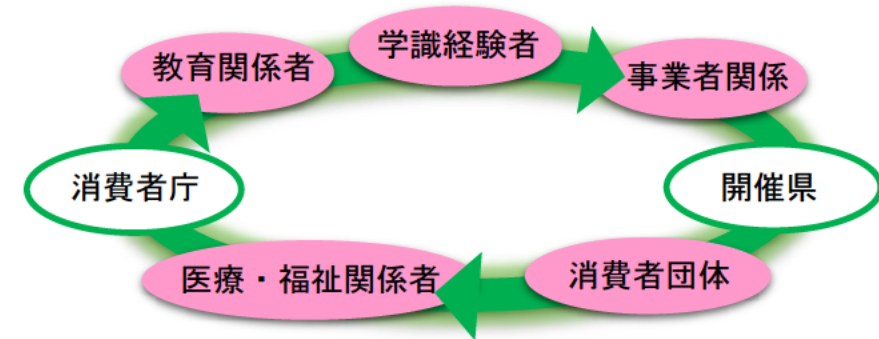
3. 2019年度の取組

○平成30年12月に今後の開催に関するアンケート調査を実施。2019年度の開催地として立候補があった、兵庫県、徳島県、鳥取県の3県で開催する。

○テーマは、消費者教育・SDGsを基本としつつ、消費者行政全般から選定。基本として、第1部において開催県で選定した消費者行政に関する有識者との意見交換、2部では、参加者との情報共有、交流の場となる情報交流セッションを含む一般向け公開セミナーを開催。(プログラムは調整)

<イメージ図>

⇒第1部
地域有識者、開催県、消費者庁との意見交換



⇒第2部
一般向け公開セミナー

